

「大阪府の松井知事、大阪市の吉村市長の辞職の意味がわかり
ませんが？」

平成 30 年 12 月 26 日

●虎猫とらさんからの質問

大阪府の松井知事、大阪市の吉村市長が都構想の住民投票の件で辞職されるそうですが、私には何で辞職しなきゃならないのか理解に苦しみます。都構想の良し悪しは横に置いて、今後どうなるかわかりませんが 12 月 24 日現在の報道によれば松井知事と吉村市長は参議員選挙と同日で住民投票を目指していたようですが、それが不可能な為に辞職するようです。ならば私は、わざわざ国政のあり方を問う参議員選挙と同日ではなく府政、市政のあり方を問う知事選、市長選と同日の方が筋が通ると思います。又、わざわざ任期も残り少ないので辞職する必要は無いと思いますが西田先生は、どう思われますか？

●西田昌司の答え

大阪府の松井知事と大阪市の吉村市長は、都構想の住民投票を来夏の参院選と同日実施するよう目論んでいましたが、協力を求めてきた公明党との協議が決裂したので任期満了（来年 11～12 月）を待たずにそろって辞職し、来年 4 月の統一地方選と同じ日程で知事・市長の出直し選を仕掛ける、と報道されていました。

都構想の住民投票が平成 27 年 5 月 17 日に行われ、僅差で否決されましたが、一度否決されたのにもかかわらず議論を蒸し返し、それが聞き入れられないのであれば辞職をして信を問うというのは一事不再議という原則に反しますし、政治の世界において一度決めたものはそう簡単に覆してはなりません。虎猫とらさんと同じく私も辞職する必要は全くないと思いますし、彼

らのやり方は非常に乱暴だと思います。

イギリスにおいても国民投票によってブレグジットが決まった後、もう一度やり直すべしという意見もあったようですが、そのようなことを認めてしまうと際限がありませんし、そもそも国民投票をした意味がなくなってしまって社会が混乱します。一度決めたことはそれに従って前に進むしかありませんし、であるからこそ政治における決定は慎重であるべきなのです。

都構想は地方分権論の焼き直しですし、効率化を図ることによる予算の低減がその骨子ですが、予算を減らして地域が活性化するはずがありません。地域を活性化するのであれば逆に予算を増やすべきですし、都構想は根本から矛盾を抱えているのです。

大阪府民や市民の皆様におかれましては、彼らに踊らされることなく冷静に判断していただきたいと思います。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>